

全国山名氏一族会  
〒667-1311 兵庫県美方郡香  
美町村岡区村岡2365 法雲寺内  
電話 0796-198-1115  
FAX 0796-198-1116

## 山名氏一族会役員会を開催

去る6月23日、京都市にて役員会を開催しました。正副会長・理事長・常任理事に三王相談役にも加わっていただき、本年度の活動計画策定にご協力いただきました。

山名会も活動再開から4年目に入り、会員数は当初目標にしておりまして50名を超える事は出来ましたが、会の安定的な運営を考えるとマダマダ充分な会員数とは申せません。今後も魅力有る活動を企画・提案させていただきます、更なる会員増を目指したいところです。



前列右から山名年浩会長、三王相談役、宮田副会長。  
後列右から山名靖英理事長、山名嗣宣常任理事、吉川事務局、新会員寺田氏。

### 会員増に向けての取り組み

今回、宮田副会長様の教え子様や三王相談役のお知り合い(寺田氏)等の山名会入会の有り難い話もあり、更なる山名会の会員増に向けては一族の枠だけに捕らわれず、もっと幅の広い範囲の方々にお声掛けさせて



二時間ほどの会議でしたが、有意義なご提案を数多くいただきました。役員各位にはご参加有り難う御座いました。

いただき、会としての活性化を計らねばならないとも考えています。そんな中、次のような提案が出て参りました。

\*山名会の案内パンフレットを作成し関係各所に配賦出来るように準備する。

\*過去、山名会で作成した書籍・資料など一般に配賦出来るような資料を活用して山名会の存在を広く知って貰えるように努める。

\*旧会員諸氏にも再度、再興した山名会への入会をお勧めするように働きかける。

\*山名姓が多く存在する地域の情報などを収集して現地を訪問してみることも考える。

\*山名会総会などの行事にも現山名会会員以外の方も参加出来る行事内容を考え、山名会の裾野を広げるように考慮する。

等、ご提案いただきましたので、出来る事から取り組んでいきたいと考えています。

### 第21回総会の反省点

本年度の行事について検討す



第21回総会二日目、高齢の方も多く各地を移動しての日程は可なりご負担になったのではないかと。また、泊まりがけの行事も一考すべきか...

る前に昨年行いました第21回総会の反省点や改善点についてご意見をいただきました。

\*当初40名以上の参加を前提に計画したが、参加者は26名どまり。行事計画に無理があったのではなからうか...

\*「歴史講演」・「史跡探訪」・「年次総会」と多くの行事を短い日程に全て詰め込むには無理があるのでは？

\*1泊2日の予定は若い人には時間が取りにくく、高齢の方には宿泊が気に掛かる。

\*大きな行事を年一回単発で行うより、気軽に参加出来る行事を複数回行う方が参加者の

裾野が広がるのではないだろうか？

**第22回総会の計画について**

**基本方針**

- 前回総会の反省点を参考に、
  - ＊「歴史講演」・「史跡探訪」・「年次総会」と三行事を全て盛り込むのではなく、時間に余裕を持たせる計画とする。
  - ＊「史跡見学」等については数カ所を急ぎ足で回るのではなく、少ない箇所を重点的に。
  - ＊日帰り日程として、交通の便・事前準備のしやすさから、今回は京都周辺で計画。
  - ＊役員・理事はじめて行事の広報、参加者の勧誘に積極的に協力をお願いする。
- 等の基本方針の下、役員会では第22回総会の概要を次記の如く計画致しました。

**総会の構想**

期日：平成27年11月28日（土）  
会場：京都市内公的な集会施設  
利用

行事：お昼頃集合、歴史講演・意見交換会の後、清興（芸能鑑賞等）又は周辺関連史跡拝観等

今後、会長・事務局の間で具体的内容を検討し、案内する。

**山名会パンフレット作成**

役員会でご提案いただきました「山名会のパンフレット」を作成致しました。A4三つ折りのサイズで先ずは一千部印刷致します。今後各種案内や入会の勧誘に使用させていただきます。



先ずは試験的に一千部作って見ました。しばらくの間使用し、不具合箇所など有れば再版の際に手直しを重ねて行きたいと思っております。（写真は表面）

**清和源氏系図手拭い**

前号(10号)で赤穂の山名義範前理事長が、第21回総会の史料「近世京都図」を元に風呂敷を作成された話をご報告致しました。それに触発されたという訳ではありませんが、山名会史料有効活用の見地から、山名年浩会長が作成された「清和源氏諸流略系図」元に清和源氏各氏を記した略系図手拭いを作成しました。

初回は百枚作成しました。今後、新会員勧誘等、山名会をアピールする為に使用したいと考えています。

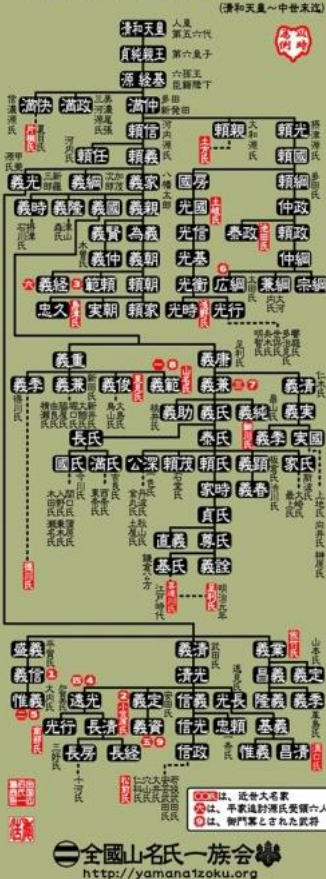
ただ日本手拭いへのプリントですので、細かい部分が何処まで

で再現出来ているかは、正直なところ実物を見るまでは何とも申せません。仕上がり具合を見て、今後の追加作成も考えたいと思います。その際には会員諸氏にもお配りさせていただきたいと考えて居ります。



部分拡大

**清和源氏諸流略系図**



# 『第22回山名会総会』の計画決定

当会報の冒頭にてご報告の方向で、11月末に行う第22回総会の計画を山名年浩会長様のご尽力により立案することが出来ました。まずは簡単な概要だけを本号でご報告させていただきます。

今回は京都の中心地、四条烏丸の池坊短大「こころホール」(下段写真参考)を主会場として、歴史研究家二氏による『京の歴史と山名氏』をメインテーマとした「歴史講演」及び「歴史ディスプレイ」を中心とした内容で計画致しました。

「山名氏と京都」といえば避けて通ることが出来ないのが、京の町を灰燼に帰した「応仁の乱」……。応仁の乱の一方の当事者・山名氏の末裔としても、「乱が京都に与えた負の影響面が余りにも大きかったのではないかと」と、今でも心の何処かに引っかかっている所です。

今回の歴史講演では京都在住の二氏による冷静なご検証により、山名氏が京都に与えた影響を第三者の視点で検証して頂ければと考えています。

また、今回はホールという会場の特性を活かして、山名氏と因縁深い千本釈迦堂に由来する「六斎念仏」(千本六斎会・無形文化財)を観賞させていただきます。この六斎念仏は元々の念仏踊りに、笛等の楽器を加えて芸能的に発展したもので、寺社等の宗教行事の中以外では余り観賞する機会が御座いません。滅多と無い機会でご覧いただけますので、六斎念仏も十分に観賞して頂ければと考えています。

## 山名会歴史講演会並びに総会

記(概略)

主題 「京の歴史と山名氏」(仮題)

期日 平成27年11月28日(土)

会場 池坊短大「こころホール」(200名収容)

〒600-8491京都市下京区四条室町鶏鉾町

日程(仮)

時間	予定
12時	開場
13時	「室町文化の歴史的意義」 — 松本公一先生
14時	「京都と山名氏」 — 山本義典先生
15時	討論「室町文化と山名氏」
16時	無形文化財「六斎念仏」観賞
17時	閉演 その後、年次総会
18時	会場近隣で懇親会を予定

後日、改めまして「総会のご案内」を発送致しますが、それまで、前記をご参考に予め日を空けておいて下さい。



池坊短大(京都四条烏丸)正門と「こころホール」(地階)。約200名収容可能な中ホール。是非、山名会員以外の方にも多くご聴講願ひ、山名会に興味を持って頂ければ。

会場へは下記の交通機関が便利です。

\*JR京都→地下鉄烏丸線「四条駅」下車、26番出口より西へ徒歩2分

\*阪急「烏丸駅」より26番出口より西へ徒歩2分

講演 「京都と山名氏」  
講師 山本義典先生(京都の地理・歴史研究者)

講演 「室町文化と山名氏」  
講師 松本公一先生(池坊短大教授)

清興 「六斎念仏」千本六斎会の皆さん

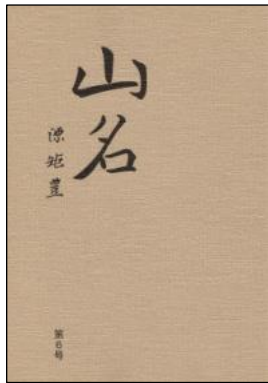
### 会誌「山名」七号原稿募集

毎号、山名会会員内外より好評を得ております会誌「山名」第七号の発行を計画しております。つきましては会員諸氏には会誌「山名」へのご寄稿をどうかよろしくお願いいたします。

寄稿テーマにつきましては、特段限定しておりません。「山名氏」「山名会」に関することをご自由に文をお寄せください。

- \*山名氏に対する歴史考察。
  - \*各家に語り継がれた伝承。
  - \*各家の史料写真等。
  - \*山名会に期待すること。
  - \*山名会行事の感想…
- 気軽に投稿お願いいたします。

発行は来春予定ですので、平成28年2月末までに事務局へ原稿をお送り下さい。



尚、既刊の  
\*「山名」第5号（残数少量）

\*「山名」第6号（残数50冊程）各号ご希望がありましたら事務局まで。

### 法雲寺縁起刊行（予定）

『村岡山名菩提寺』と称しています法雲寺。しかし実のところ藩公菩提寺となる江戸時代（寛永19年・1642）以前の姿がハッキリとせず、お寺の創建年代については、その寛永19年とするのか、それとも、それ以前なのか、余り自信を持ってご説明が出来ない状態でした。

この草創不詳の中途半端な寺の生い立ちについて、前任職（吉川廣昭）が、昨秋から一念発起し、旧来から有る法雲寺・郷土史関係の史料を整理点検し、また、法雲寺と同時代に日蓮宗から天台宗へと転宗させられた円融寺様（東京）から新史料のご提供を受けて、法雲寺草創から現代に至る一つのストーリーを確立しました。これで少しは自信を持つて法雲寺の歴史を人々の前で語れるような気がします。同書の中には、草創時の京都妙心寺との関係、熱心な法華経信者であった法雲寺中興の山名矩豊公が日蓮宗から天台宗へと

転宗された経緯、明治維新の藩財政清算にまつわるエピソードなど今まであやふやであった法雲寺の歴史上の不明点を明確に整理し、また、昭和後期から縁が出来た太田垣泰明氏や濱田義明氏との関わりによって、山名会誕生や山名蔵創建に到った思い出等も記しております。

尚、「法雲寺縁起」の刊行は秋10月頃を予定しております。その際は改めまして皆様にもご案内申し上げますので、是非一度手にとってお読み下さい。

### 編集後記

お盆も過ぎ、やっと一息です。例年ですと夏前に総会に関するお知らせが出来ていたのですが、諸般の事情により今頃となってしまいました。

会報中にあるように第22回総会は「歴史講演を中心とした一日の日程」で計画致しました。願うところは「会員内外で、多くの方々に気軽にご参加を…」です。

山名会も再興4年目ですが、将来的な発展を考えればこの辺りで一頑張りして、開催地域周辺で多少の話題となるようなイベントを持ち、山名会の存在を知って頂く努力をせねばなりません。（報道によって山名会に興味を持たれる方も割と多いと思っております。）

今回は会場・講師先生共に山名年浩会長のご尽力で最高のステージをご準備願えました。

ホールは200席有るとのことです。役員各位はじめ会員の皆様には、それぞれにお持ちのご関係やご縁を大いに活用願ひまして、第22回総会開催の広報をしていただき、当日は席が全て埋まりますようご協力お願い致します。

（事務局）